

三成保育所 谷尻圭子所長に町から感謝状

町の児童福祉の充実や地域の発展にご尽力いただいている、三成保育所所長の谷尻圭子さんに3月31日、岩田町長から感謝状が贈られました。

谷尻さんは、昭和43年4月に仁多福祉会立三成保育所に就職以来、40年の永きにわたり、保育所職員として地域に根ざした保育所の運営や子供たちが自ら進んで物事に取り組む環境づくりに取り組んでこられました。特に、平成14年の阿井保育所に続き、この度の町立横田保育所及び馬木分園の仁多福祉会への移管、県下でも数少ない三成児童館の開設などに多大な貢献をされました。



多くの方々が相次いで視察

～ 財務省主計官、経済産業省大臣官房・課長、総務省・室長が来町 ～

奥出雲町では、県外の市町村や議会から多くの方々が視察に来町されています。

3月にも激務の中、7日に総務大臣直轄の室長、12日には財務省主計官、経済産業省大臣官房の課長が、先進的な取り組みを行っている市町村の実態を見るため来町されました。

今回は特に、光ファイバーを全戸に接続した全国最先端のFTTH網の整備状況、また本町から要望し新たな事業として創設いただいた、過疎地域の「空き家対策事業」の現状について、また米のブランド化に取り組んでいる奥出雲仁多米(株)、カンントリーエレベーター、仁多堆肥センターや従業員約130名の(有)奥出雲椎茸のライン化された選

別システム、国営開発農地に導入された高糖度トマトの大型ハウス団地など、地域資源を活かした農業振興の現場などを視察されました。

さらに過疎地域にあって独自の素材開発で世界への販路開拓を目指し「特殊合成ゴムEXGEL」商品の開発・販売を行う(株)加地も視察され、改めて高い評価を受けました。

なお、町長から奥出雲町の合併時からの行財政改革や職員給与のワタリ制度の是正などについて説明があり、いずれの視察も「百聞は一見に如かず。今回の現地視察が今後の中山間地域の行政のあり方について大いに参考になった」と評価され、本町の財政状況や大型予算規模についても注目いただきました。

町内の3自治会館が竣工

新町発足後、13箇所の自治会館の建設に続き、平成19年度にコミュニティ施設整備事業として建設が進められていた小寄（小阿井・見寄自治会が統合）、女良木、上三所の自治会館が竣工しました。総事業費は3施設で約5,800万円、地域のコミュニティの拠点施設として様々な活動に利用されます。

いずれの施設も地域住民が幅広く利用できるバリアフリーとなっており、今後地域の交流と憩いの場として多くの方に活用されることでしょう。



▲小寄自治会コミュニティセンター(阿井)



▲女良木公会堂(馬木)



▲上三所コミュニティセンター(布勢)